

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北里大学 看護学部新N号館	階数	地上5階
建設地	神奈川県相模原市南区北里一丁目411-1外48筆(地名地番)	構造	S造
用途地域	神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号(住居表示)	平均居住人員	980人
地域区分	準工業地域、準防火地域	年間使用時間	2,700時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2022年6月6日
敷地面積	3,195 m ²	作成者	株式会社日建設計一級建築士事務所
建築面積	1,947 m ²	確認日	2022年6月6日
延床面積	7,093 m ²	確認者	株式会社日建設計一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> キャンパス内の周辺環境に配慮した外構、外装計画 外装バルコニー・テラスの一部緑化 共用部や実習室の窓面を広く確保した自然採光、共用部の自然採光 LED、高効率器具の採用、適切な照明制御による設備の高効率化 	
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> LED、高効率器具の採用による消費電力の低減 エアコン、トイレ照明等の人感センサーによる照明制御 Low-e複層ガラス等を使用し外皮性能の向上 	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 緑地空間を多く確保したテラス・バルコニーおよび外構計画 設備機器の目隠しとしての外装計画
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> 高効率機器の採用 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 建物の低層化による日影等の周辺敷地への配慮 屋上設備機器目隠しの設置による周辺計画への配慮
Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 講義室、実習室の階高を4m以上確保したゆとりのある空間 2回線受電および非常用発電機搭載 	
LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 節水コマに加えて、擬音装置を採用 地下ピットを利用した雨水利用計画 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される